

備考欄						20	配点
3	5	3	3	3	3		
問五	問四	問三 (二) (一)		問二	問一	第二問	
エ	(例) 奥山も苦しんできたことを知り、捕らわれつづけてきた十五年前の出来事から解放してくれたことに感謝する気持ち。 (五十三字)	私とおなじ	(例) 責めて	(例) 自分の手に大量の汗をかいていることを知られたくなかった (二十七字)	イ		

備考欄														32	配点
3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
問四 (五) (四) (三) (二) (一)					問三	問二	問一							第一問	
(例) 実現したいことは二つあります (十四字)	ア	エ	イ	(例) 難しくても	ウ	ア	⑧ 歴 レキ 訪 ホウ	⑦ 安 アン 易 イ	⑥ 飛 ト  (んで)	⑤ 幹 ミ キ	④ かつ 喝 さい 采	③ 傾 けい 斜 しゃ	② つくろ 繕  (う)		① つい 費  (やす)

採点の基準等		20	配点
第五問			
<p>△採点の基準▽</p> <p>1 内容及び表現について 投書の内容に対する自分の考えとその理由が、具体的に示され、適切に表現されているか。 15点</p> <p>2 表記について 5点</p> <p>(1) 誤字や脱字はないか。</p> <p>(2) 仮名遣いや送り仮名は正しいか。</p> <p>(3) 漢字、ひらがな、カタカナの使い分けは適切であるか。</p> <p>(4) 句読点やその他の符号の使い方は適切であるか。</p> <p>(5) 原稿用紙の使い方は正しいか。</p> <p>△留意事項▽</p> <p>採点は、前記の△採点の基準▽1、2によることとするが、次の点についても留意すること。</p> <p>(1) 字数が百六十字に満たないものは、総点を10点以下とし、二百字を超えたものについては、その程度に応じて適宜減点する。</p> <p>(2) 表記の誤りについては、前記の△採点の基準▽の2によって適宜減点する。</p>			

備考欄				8	配点
3	3	2			
問二 (二) (一)		問一	第四問		
ウ	(例) 部屋の中の暗さと外の雪の明るさ (十五字)	すえて			

備考欄						20	配点
5	3	3	3	3	3		
問五	問四	問三 B A		問二	問一	第三問	
見えるようにすること。 (四十八字)	エ	美や畏れ	自分の力がまるでおよばない	(例) 生育環境に応じた姿 (九字)	ウ		

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。